

「自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成研修」

1 趣 旨

- ・全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて安全に指導ができる自然体験活動指導者（NEALリーダー）を養成する。

2 事業の概要

- (1) 期 日 平成30年9月15日（土）～9月17日（月）＜2泊3日＞
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家
- (3) 後 援 島根県教育委員会
- (4) 対 象 自然体験活動に興味がある方、自然体験活動指導者になりたい方（18歳以上）
青少年教育に係る指導員やリーダー
- (5) 参加者 16名（大学生8名 社会人8名） 募集15名程度
- (6) 講 師 (1) 佐藤 しのぶ 氏（くにびき自然学校代表）（講義・演習③～⑤，⑦）
(2) 堀江 清二 氏（まなび工房代表，広島経済大学非常勤講師）
（講義・演習⑥・⑦，☆②）
(3) 国立三瓶青少年交流の家職員 （講義・演習①・②，☆①）
※主任講師 国立三瓶青少年交流の家 久城 秀太（ガイダンス①・②）
- (7) 日程・研修内容 ☆：法人ボランティア登録必須科目（希望者）

【1日目：9月15日（土）】

- 11：00～11：30 集合・受付
- 11：30～12：00 開講式・ガイダンス①(0.5h)
- 12：00～13：00 昼食・休憩
- 13：00～14：30 講義①「青少年教育における体験活動」(1.5h)
- 14：50～18：50 演習②「自然体験活動の技術」(野外炊飯による夕食含む)(4h)
- 19：00～21：00 ☆①「青少年教育におけるボランティア活動」(2h)
- 21：00～22：00 入浴・休憩
- 22：30～ 就寝

【2日目：9月16日（日）】

- 9：00～10：30 講義・演習③「自然体験活動の指導」(1.5h)
- 10：40～12：40 講義・演習④「自然体験活動の技術」(2h)
- 12：40～13：40 昼食・休憩
- 13：40～16：40 講義・演習⑤「自然体験活動の安全管理」(3h)
- 16：40～19：00 休憩・夕食・入浴
- 19：00～20：30 講義・演習⑥「対象者理解」(1.5h)
- 21：00～22：15 情報交換会
- 22：30～ 就寝

【3日目：9月17日（月・祝）】

- 9：00～12：00 講義・演習⑦「自然体験活動の特質」(3h)
- 12：00～12：50 昼食・休憩
- 12：50～13：20 ガイダンス②(0.5h)
- 13：20～13：50 認定試験(0.5h)
- 13：50～14：10 事務手続き・閉講式

3 事業の特色

① プログラムデザインと企画のポイント

○今回の研修会では、研修会終了後の参加者の姿を次のようにイメージしてデザインをした。

- ・グループリーダーとして、活動後のふりかえりを行うことの大切さに気付いていること。
- ・野外活動等で火を扱う際のポイントを理解できていること。
- ・発達段階に応じた関わりについて意識できるようになっていること。
- ・リスクマネジメントの重要性について意識できるようになっていること。

○研修会の前に、参加者から以下の内容の事前アンケートを実施し、参加者のニーズに沿った研修内容になるようデザインした。

- ・今回の講習を受講するにあたり、期待していることはどのようなことですか？
- ・具体的に学びたい自然体験活動の知識・技術があればご記入をお願いします。
- ・講習受講後は、どのような活躍をしたいですか？

○グループワークを通じ、参加者同士で学び合えるような研修になるようデザインをした。

○事業参加者で法人ボランティア登録を希望する者については、ボランティア共通カリキュラム修了と同等程度の理解と認定できるよう、ボランティア養成カリキュラムの科目も選択で受講できるようにした。

② 運営のポイント

○グループワークが中心となるため、アイスブレイクを入念に行うようにした。

○アイスブレイクでのアクティビティを通じて、研修会の約束事を共有し、参加者が研修に参加しやすい環境を作るようにした。

○各科目及び1日の終わりにはふりかえりを入れ、知識の整理や個人及びグループに対する思い等を共有した。

③ 広報のポイント

○ふるさと島根定住財団を通じ、島根県内のNPO団体(約280団体)、公民館(約320団体)、地域づくり団体(約300団体)、公益法人・公共施設(約50団体)へ送付。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計

(人) (2) 参加者の声

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	12	4	0	0
プログラム	11	5	0	0
運営	14	2	0	0
職員の対応	14	2	0	0

・アイスブレイクで緊張がほぐれてよかった。

・リスクマネジメントの基本、考え方を学べてよかった。

・各講義のコマがリンクしていてとてもよかった。

5 成果と課題

《成 果》

- ・「リスクマネジメントの基本、考え方を学べてよかった。」「リスクマネジメントの大切さを知り、もっと学ぶ必要があると思った。」という参加者のアンケートや試験の結果からも参加者が、リスクマネジメントの重要性について意識できるようになった。
- ・「難しいところもあったがチームワークで乗り越えられたと思う。」というアンケートから、参加者が互いに支え合い、学びを深めながら活動できたことが推測される。
- ・昨年度は、ボランティアセミナーと同日程で自然体験活動指導者養成研修会を実施したが、学生しか参加がなかった。その昨年度の反省を受け、今年度は、2泊3日の研修会でNEALリーダーの登録を行えるようカリキュラムを調整したため、社会人からも多くの参加者を得ることができた。
- ・ふるさと島根定住財団を通じ広報を行ったため、チラシ等の発送費を抑えるだけでなく、島根県全域に広報したことで、社会人の参加者増加につながった。
- ・11名が新規で法人ボランティア登録を行った。

《課 題》

- ・カリキュラムを消化するため、ふりかえりや休憩に時間を多く使うことができない科目もあった。次回は、研修会の開始時刻や日程について、検討する必要がある。



(担当：事業推進係 久城 秀太)